

校長ニューズレター(第37号・12月号) 宜野湾市立長田小学校校長:横山芳春



「ゴールは甲子園ではない」

表題は、興南高校野球部の監督・我喜屋優氏の言葉だ。県民ならだれでも知っている高校野球春夏連覇をはたした監督だ。

「野球の試合は9回で終わるが、人生のスコアボードは一生つづく。お前たちはその長い長いスコアボードで、ずっと戦っていかなければいけない」。

監督は、球児に「将来はきちんと仕事をして、社会の役に立つ自立した大人になれ」と指導する。

「春夏連覇はあくまで人生の通過点」という教えは、生徒たちの人間形成を目的としている我喜屋監督ならではの考えだ。

監督の指導方針(教育方針)を学ぼう。

監督は、野球の技術について細かいことはほとんど言わない。いつも口うるさくいうのは、“小さなことを大切にする”ことだ。

(1)「あいさつ」

「人間同士のコミュニケーションの基本中の基本。『あいさつ』の『あい』は心を開いて相手に言葉を投げかけること。『さつ』は心を開いて受け入れ、相手に言葉を返すこと。」

日本人のあいさつは、欧米人の握手ににていると思う。握手は、私はあなたの敵ではありませんというサインなのだ。

「あいさつのないチームは絶対に強くなれないし、あいさつのない会社は組織として上手いれない」と監督は言う。まったく同感だ。

興南高校のあいさつにはこんなエピソードがある。私の体験だ。

実は、私の愚息も高校球児。島袋投手と同じ歳で、小禄高校野球部員だった。興南対小禄の

試合を観戦に行ったときのこと。応援合戦があった。まず小禄から。小禄の応援は、蛭カウ風で楽しい応援。そのつぎに、興南高校の応援。どちらも甲乙つけがたい合戦だった。しかし、興南の野球部員や応援の同級生たちは、自分たちの応援が終わった直後に整列。「小禄高校に礼」とのかけ声。一同「(小禄高校のみなさま)ありがとうございました」。小禄高校球児の親である私は、ただ心の中で(負けました・・・)。

(2)早寝・早起きと食事

2007年、監督をひきうけてはじめて野球部に行ったときのオドロキ。「部屋は散らかり、荒れ放題。天井ではヤモリ・・・床ではゴキブリ・・・寮生たちの生活態度は、夜はだらだらと遅くまで起きている。朝もまともに起きられず、朝食も食べない。好きなものしか食べず、嫌いなものは平気で残す。片づけもいがかげん・・・人間として、とてもまともな生活ができる場だとは思えなかった。」「これでは、野球が強くなるはずはない!」「私生活がだらけていたら、すべてがだらけてしまう。野球以前の問題なのだ」すぐさま生活改善にのりだす。

6時に起床。洗顔などをすませて、15分の朝の散歩を義務化。「時間にルーズで、『なんくるないさー』という楽天的で気ままな精神」をたたき直していく。

「睡眠をきちんととって、朝からしっかり体を動かして食事を味わうこと。」監督は、生活習慣を改め、「精神を鍛えなければ、体を鍛えても意味がない」「指導者というのは、嫌われてもいいし、疎(うと)まれてもいい」「生徒のためになると思ったことを教えるときは、徹底的に厳し

くあらねばならない」という。

散歩で五感をみがき、帰校してから抜き打ちの「1分間スピーチ」をおこなう。話す訓練をすることで、言葉のもつ力を感じ、表現力を磨いている。

食事については、3か月かかって嫌いな食べ物をなくさせ、完食できるようになったとのこと。

(3)ごみを拾う

「いまのお前たちは、野球の技術では一番になれない。でも、ゴミ拾いなら勝てる。まずは日本一のゴミ拾いができるチームになろう」。

「甲子園を目指すという言葉はやめよう。それよりも、明日から目標を達成するための、心づくりをはじめよう！」と部員に告げている。

起床、洗面、身じたく、朝の散歩、体操、食事、整理整頓、清掃・・・と生活指導を徹底している。生徒たちは少しずつ変わっていった。

監督は言う。「そして2007年の夏、たったこれだけで、興南高校は24年ぶりに甲子園出場を決めたのである」。我喜屋氏が就任して3か月目のことである。我喜屋マジックと言われて、監督は、「これまでできなかった小さなことが、しっかりとできるようになっただけのこと」と言いきっている。

そのこの躍進は国民の知るとおり。2010年に連覇したときに、監督は、

「連覇一番の理由は、食事を残さないことだったかも知れないと思うほどである」と、生活習慣がいかに大事であるかを説いている。

教育者として我喜屋氏から学びたいことは山ほどある。紙面の都合で少しだけ触れていこう。

○小さなことをまじめに徹底してやること。

・あいさつ

自分から進んであいさつをする。あいさつをされたら、かならずあいさつを返す。

・早寝、早起、朝ご飯

これはもう常識。

・ごみひろい

ごみを見かけたら、かならず拾う。拾うと環境がよくなるし、心も磨かれる。

・時間を守る

遅刻しない。ベルが鳴る前には席について授業にそなえる。

・廊下を走らない

廊下を走るのは大きな事故のもと。大声をだして走り回ってはいけない。

・服装を整える

体育の時間は体育着を着用する。授業中はフードや帽子をかぶらない。

・食事で好き嫌いを無くしていく

食物アレルギーがないのであれば、好き嫌いを無くしたい。

・学校のルールを守る

授業中におしゃべりをしない。立ち歩かない。体育館の使用ルールを守る。

・清掃

担当の場所の清掃をキチンとやる。エトセトラ・・・

学校生活で必要な生活態度についてあげてみた。上記のことがらは、教育者である全教師が“率先垂範”（人に先立って模範を示すこと）しなければならない。また、保護者のみなさんにもお願いしたい部分もあります。

子どもたちに基本的な生活習慣を身につけさせ、社会のルールを守る人間に育てる。人のためになる人間に育て、幸せな一生をおくってもらうために、私たち大人が率先垂範していきましょう。

我喜屋監督、ありがとうございます！

